

# おはだ

## 漢方

〜中国3千年の歴史〜

### ●西洋医学と漢方

西洋医学の進歩は目覚しく、抗生物質により「死の病」であった結核は制圧され、平均寿命は飛躍的に延びました。一方、西洋医学では治療の難しい病気のあることも確かです。

古く東洋では、生活の知恵として、植物、動物、鉱物を乾燥や粉碎して薬として伝承されてきました。これらを科学的に体系化したのが漢方（和漢診療学）です。

### ●西洋医学の特徴

西洋医学は病気の原因（細菌やウイルスなど）を突きとめ、それを取り除くことが治療の根本原則です。心と体を切り離し、物質面を重視し、内臓を部品のように考えます。

### ●漢方の特徴

心と体は一つのものである（心身一如）と考えます。体の狂ったバランスを元に戻すことが治療の基本です。人間

の持っている自然治癒力を高めます。

### ●漢方の得意分野

次のような場合に漢方薬が有効な場合があります。

- ・原因の分からない病気
- ・体質的な病気
- ・原因を取り除くことが難しい病気
- ・副作用などで現代医学の治療ができない場合
- ・心と体の異常が混じっている病態

### ●「気」「血」「水」

漢方では体は気、血、水の3要素によって維持されると考えます。

気とは「元気」の気、「気力」の気であり、生命のエネルギーです。「血」と「水」は兄弟のようなもので、体に栄養を与えている液体です。赤い色をしたものが「血」で、無色の液体が「水」です。

### ●気の異常とは

気は生命力そのものであり、漢方で最も大切なものが気の概念です。気の異常には3つあります。

### ●「気虚」

気が不足している状態をいいます。その原因に2つあり、気の産生が低下している場合と、気の消費が多い場合とに分かれます。気虚の症状には、体がだるい、気力がない、疲れやすい、日中の眠気、食欲不振、風邪を引きやすい、物事に驚きやすいなどがあります。

### ●「気うつ」

生命の根元的エネルギーである気がうまく循環せず、停滞した状態をいいます。気うつ

### ●「気逆」

気が逆流した状態です。エントツがつまって、煙が家の中に逆流しているようなものです。気逆の症状には、冷えのぼせ（足は冷える）、動悸発作、顔が赤い（足の冷えはない）、咳、嘔吐、発作性の頭痛、腹痛発作、焦燥感などがあります。

### ●血の異常

血の異常には「血虚」（血が不足した状態）と「お血」（血の流れが悪くなった状態）があります。血虚の症状は、目の疲労、皮膚の乾燥、こむらがえり、顔色が悪い、めまい、髪が抜ける、集中力低下、不眠、月経不順などです。

お血の症状には、目の周りの色素沈着、歯ぐきの黒ずみ、口唇や舌の色が悪い、痔、月経異常などがあります。

### ●水の異常

水が体の一部に停滞した状態を「水滞」といいます。症状は、体のむくみ、体の重い感じ、拍動性の頭痛、めまい、立ちくらみ、車酔い、鼻汁、唾液が多い、下痢、悪心、嘔吐などです。

### ●二刀流

当院皮膚科では現代医学に加え、漢方薬による治療を取り入れております。漢方薬をご希望の方は、お気軽にお申し出ください。